

※個人名を削ったものを公開いたします。

1 開会及び会長あいさつ

会長よりあいさつ

す。

○会長 よろしいでしょうか。

3 確認事項(1) 第7回審議会議事録の内容について

【了承】

事務局次長より別紙1について説明

○会長 よろしいでしょうか。

【了承】

3 報告・協議事項(1) 第7回審議会以降の協議経過及び今後のスケジュールについて

事務局次長より別紙2について説明

○委員 基本設計の概要版のようなものを全戸配布する予定はあるのでしょうか。

○事務局次長 4月号の広報記事に掲載する予定です。

○委員 全町民に伝わるように配慮いただければと思います。

○事務局次長 いずれにせよ、基本設計が出来上がった状態のもので周知したいと思いますが、チラシのほうがよいでしょうか。

○委員 手法については、広報の記事でもかまわないと思います。

○委員 VRとはなんでしょうか。

○事務局次長 バーチャルリアリティの略で、立体的に庁舎を見せることができま

議案第1号 津別町庁舎等建設事業基本設計について

01. 外観デザイン・配置計画について

アトリエブंक(以下、BNK)より説明

○委員 外壁は木ということだが、建設後のメンテナンス費用はどれくらいになるのでしょうか。私のイメージとしてはコンクリートのほうがよいと思います。

○BNK コンクリートに耐久性があるというのは、そのとおりです。今回の提案については、暖房負荷を軽減する省エネの考えから、内側にコンクリートを入れ、外側に断熱材を入れるという外断熱という提案をしております。そこでなんらかの外壁が必要でそこに木を利用しているという案です。庇を作ることにより、雨風になるべく当たらないようにすることでメンテナンス費用がかからないような配慮をしていきたいと考えています。

メンテナンス費用については、金額の正確な数字はまだございません。一切塗装しないという方法もあるので、デザイン的なことも勘案しながら検討していきたいと思っています。

○委員 お金のかかる施設は作らないほうがよいと考えておりますので、メンテナンス費用については、明確にしてほしいで

す。

○会長 次回までに出せるようにということでもよろしいでしょうか。

○委員 駐車場の部分は基本設計の概要をお知らせする際に、提示するのであれば、決めておいたほうがよいかと思いますが、どうなっているのでしょうか。

○事務局次長 現在、図書館、交通拠点の部分は基本構想の策定を委託に出して、3月までにまとめる予定です。その構想の中では、いくつかの案を整理するというところで、決定した内容ではない、という段階です。

○事務局次長 基本設計の概要を広報に出すときには、外構部分は出来ていないので、今回示したような内容になると見込みです。

○会長 よろしいでしょうか。

【了承】

02-1. 平面計画について【1階】

アトリエブランクより説明

○委員 検診車が建物の中に入り、受診者がより安全で天候に左右されず健診を受けられるということで説明を受けておりましたが、検診車は庇の下に入ることでもよろしいでしょうか。

○BNK 庇の下には十分入ると思います。

○委員 検診車は庁舎の中に間違いなく入るだろうと説明を受けてきましたが、こ

れを見ると、検診車は外にあります。

○事務局次長 各課ヒアリングを行った中で、健診の実施については、年数日のみであり、検診車を中に入れると、相当なコストと場所をとってしまいます。また、津別町くらいの規模で検診車を中に入れるという庁舎は事例がありませんでした。

代案として、コミュニティホールを一階にして、使いやすくするというようにしたほうがよいのではと方向転換をしたところです。また、コミュニティホールの検診車側に入口と庇を設けることで雨風に当たらないような形にしてなんとかしたいという考えです。

○委員 津別町では、健診率が下がっている状況があります。健診は男性も女性も受診するかと思いますが、婦人科の健診のときには、バスの外で待っている女性の姿が見受けられ、あれは気の毒かと思いますが。そういったことが、解消されるかと期待をしておりました。外で待っているのが嫌だから健診に行きたくないという方を私はたくさん知っております。検診率を上げるということは、そういう風に町民の方に暖かい目線を持って、細かいところを丁寧にしていくことが大事かと思います。女性の町民目線で設計について考えていただいてもよいのではないのでしょうか。庇があり、周囲の目線がさえぎられ、雨風に当たらないということを保障していただければと思います。

○事務局次長 検診車を中に入れることで建設費は4~5千万増えることとなります。検診車を中に入れないことで、面積が減り、建設コストが下がることとなります。図面からは読み取れませんが、検診車と入口の間には目隠しのようなものを設置するという備品での対応を考えております。

○委員 分かりました。女性目線からのご意見をしっかりお伝えさせていただきました。

○委員 受診する人はどこで待つことになるのでしょうか。

○事務局次長 コミュニティホールで待つこととなります。

○委員 コミュニティホールと栄養指導兼調理室が離れているが、行う事業の関連性はあるのでしょうか。また、健康福祉センター側に相談室がたくさんありますが、これは何でしょうか、障がい者活動スペースが狭くなったのは何故でしょうか。健康医療グループには戸籍の窓口も含まれているのでしょうか。ワンストップサービスを目指すということでしたが、検討はどうなっているのでしょうか。

○事務局次長 コミュニティホールは今の集会室と同じような機能になると想定です。栄養指導兼調理室では調理実習といった事業を行う想定です。配置を考えた中では、コミュニティホールと栄養指導兼調理室を隣接させるということは困難でありました。相談室については、個室になっておりまして、保健福祉課では色々な相談対応が多くその対応のために設置しております。また、打合せコーナーについては、職員内の打合せに使うほか、執務室には基本的に外部の人が入らないようにするという中で、来庁者との打合せにも使用する想定です。障がい者活動スペースについては、当初この図面のボランティア室のところに配置をしていたのですが、そういった障がいのある方が正面から入ってくるというのは抵抗があるのではということで、奥まった場所の配置となりました。また、

当初カフェ機能を設けるという想定でしたが、現段階では具体化するまでに至らなかったため、狭くなりました。戸籍については、健康医療Gに配置されます。ワンストップサービスについては、以前に役場OBも含めた総合案内がよいのではという意見もありましたが、案内に人員一人を使うまでの需要がないこと、総合案内を設置した自治体でもなかなか利用がないという話も聴いており、難しいのでは考えております。それに替わる措置として、一階にある程度窓口を集めて、ワンストップまでいかないにしてもワンフロアサービスという形でもっていきたいと考えております。しかしながら、来庁者の方はまず戸籍の窓口に来るかと思いますので、戸籍が総合窓口的な役割を担うようになると想定しています。

○委員 健康福祉センターの使い方について、社会福祉協議会との協議はできているのでしょうか。使い道がよく分からないのであれば、それは建てないほうがよいかと思えます。

○委員 総合窓口を設置する、設置しない、必要である、必要でないという議論は長い時間をかけてきました。私が最初から総合窓口が必要であることを伝えてきました。しかし、この図面には総合窓口というものはなく、他町村の利用がほとんどないであれば、津別町がその先進事例になればよいかと思えます。来庁者がきよろきよろしていたら、どちらに御用ですか？どういう目的ですか？と言えるような役場になってもらいたいと思います。審議会として総合窓口の必要性を何度も議論してきましたが、あっさり消えいくのでしょうか。また、コミュニティホールと栄養指導兼調理室が離れているということであれば、現状の行っている事業は今までどおり町民

会館で行われるということかと思えます。

北側の道路から栄養指導兼調理室、ボランティア室等へ正面玄関を使わず直接入れるように入口をもうひとつ増やすことはできないのでしょうか。

○事務局次長 栄養指導兼調理室については、コンロが4台であるだけで、町民会館の半分くらいのスペースですので、その部屋の中で完結するものと想定しております。また、コミュニティホールは健診のためだけの部屋ではなく、通常の会議室のような使い方もしますので、栄養指導兼調理室とコミュニティホールが連携するという想定はありません。

○保健福祉課長 栄養指導兼調理室については、利用頻度は少ないのですが、母親学級、離乳食教室で使用する想定です。社会福祉協議会が色んな事業を行う際に食器類が必要ということになります。この部屋に相当数を置くスペースは必要ないということで、それは町民会館を使っただけでいいという考えで、これくらいのスペースで要求しているところです。

○副町長 窓口対応については、現状でも、1階の職員から声かけをして案内することを実際にやっています。今後もそのスタイルをより細かく対応したいということを考えて、総合窓口をおこないでやっとうと職員が話し合っているところです。そういった形をより進めていきたいと考えております。

○事務局次長 窓口対応については、現在の立って行うスタイルから椅子に座って行うというスタイルになりますので、足の不自由な方など2階へ行くことは困難な方については、座って待っていただき、職員が出向くことも可能になりますので、ハ

ードでの対応というよりは、ソフト面での対応をしていきたいと考えております。

○委員 総合案内という機能は消えたようですが、役場職員の方から前向きな意見が聴けましたので、今後がんばっていただければと思います。

○事務局次長 入口を増やすという意見ですが、セキュリティ面からすると、入口を増やすということは、マイナスの要素になります。

車に乗って訪れた人を想定した場合、駐車場から移動する場合、北側からまわって入ってくるというのはあまり想定できないかと思えます。セキュリティ面とのマイナス要素とのバランスを勘案するとどうなのかな、という風に思います。

○委員 セキュリティ面から考えるとマイナスになるということでは分かりました。

○事務局次長 欠席した委員からのご意見で、中ホールについて要求水準より狭くなっているが支障がないかという意見がありましたが、健診の関係からコミュニティホールと隣接させたほうがよいということになり、配置の関係から結果的に面積が縮小となりました。また、機械室が要求水準より広がった理由は何かという意見がありましたが、ペレットボイラーを機械室に設置しようとした場合、想定より広がったというのが理由です。また、男子ロッカーも同様に広がっているのですが、現在のように通路や執務室にロッカーを置くのではなく、職員は職員玄関から必ず更衣室に入り着替えてから執務室に入るということを想定しており、全員のロッカーにそれなりの広さをとろうとした場合に、想定よりも面積を要するということになり、広がったというのが理由です。

○委員 機械室は地下に入らないのでしょうか。

○BNK 機械室を地下に入れた場合、メンテナンスや機器の入れ替えのことを考えると難しい面があります。

○委員 エレベーターについては、ストレッチャーは入るのでしょうか。

○BNK ストレッチャーも車イスも大丈夫です。

○委員 健康福祉センター執務室の裏に書庫が並んでいう通路があるが、そこは、コミュニティホールまでの通路となるのでしょうか。また、8人島の机を並べているのですが、組織機構や人事の変動に対してどのように対応できるのでしょうか。また、島の机にどこにだれが座るのかは、どのように決めるのでしょうか。また、トイレの場所と数ですが、120名の職員がいて、男女の動線が同じで入口で分かれているというのは最近の建物ではないのかと思いますけどどうなのでしょう。

○BNK 言われました通路についてはそのとおりですので、通路側の書庫におけるものは制限されるかと思います。

○事務局次長 机の配置については、検討の中でも議論がありましたが、管理職席を別に設けることは面積をとってしまいもったいないということで、このような配置にしました。

○BNK 課と島が一致せずに、課の中で島をまたいで配置になるということもあるのが、このレイアウトの特徴です。

○委員 色んな事務所を見てきた中で、管理職の権限で、島の中の端に座ったり、真ん中に座れたりができるという現状がありました。それが周りからよい執務環境には見えないなと私は思いました。また、このように区切られたときに、この執務室内には、来庁者は基本的に入らないということよろしいでしょうか。

○BNK 基本的にぐるりと回れる動線を作っておりますが、書庫や執務室のあるゾーンについては、基本的に職員の方だけのスペースとして分けるようにしております。

トイレについては、一箇所になっていますが、男女の入口の扉はなるべく離すという配慮をしています。

○会長 昔、営林署の事務所でも執務室の出入りに規制が入ったことがあるのですが、それをきっかけに業界と営林署が疎遠になったという経験がありますので、そういったことにならなければ、と思います。

○事務局次長 ごもったもな意見だと思います。ゾーニングをしてはおりますが、バリアを張っているということではなく、職員と来庁者の方が打合せできるコーナーを充実されております。トイレは数箇所あるとよいのですが、建設的には、水周りを集約することで、コストダウンすることができます。

○職務代理 非常口はどこになるのでしょうか。

○BNK 法的整理はまだですが、正面入口と職員玄関になるかと思います。社会福祉協議会出入口も追加するかは今後整理していきたいと思います。

○委員 健診時にトイレを使用すること

がありますが、コミュニティホールから一般の方も使う通路を通過してトイレに行くというのは、パジャマのような姿になるので、とても嫌かと思えます。

○委員 コミュニティホール側にもトイレの入口をつけることはできないのでしょうか。

○委員 健診のときだけ開けられるドアがあればよいかと思えます。

○会長 次回までの検討課題ということによろしいでしょうか。

○委員 コミュニティホールは福祉避難所にして、床暖房をつけるということではできないのでしょうか。

○保健福祉課長 コミュニティホールは災害ボランティアセンター設置場所にできないかということで検討をしております。

○委員 福祉避難所とした場合、寒くて眠れないので、床暖房の検討もしていただければと思えます。また、防災備蓄倉庫には何が入るのででしょうか。

○事務局次長 職員が使うような、ヘルメットやライトといった小物が入る予定です。

○委員 検討委員会には女性が小野課長だけですが、作業部会には女性の方はいるのででしょうか。女子更衣室にはパウダールームという機能があってもよいかと思えますが、いかがでしょうか。女性職員にもう少し優しくてもよいのではないのでしょうか。

○事務局次長 需要があるか職員に聴いてみたいと思えます。

～暫時休憩～

02-2. 平面計画について【2階】

アトリエブランクより説明

○委員 町長室、副町長室には自由に出入りできるのでしょうか。

○BNK 庶務Gで受付をして、吹抜の間のブリッジを通過して出入りする想定で、直接町長室に入れるようにはしてありません。

○委員 なみきラウンジ側に扉がありますが、閉まっているということによろしいでしょうか。

○BNK そのとおりです。

○事務局次長 欠席した委員からのご意見で、特別職の部屋が大きいのではという意見がありましたが、現状の特別職の部屋面積よりは減っております。また、真ん中にある応接室については、空いているときは、他の打合せ等にも使えるように考えております。この配置の構造上このような配置になりましたが、特別職の部屋面積を減らした場合は、物品庫や小会議室といった部屋も設けることもできるかと思えます。また、正副議長室も要求水準より面積が大きいのでは、というご意見がありましたが、現状と同程度にはなっておりますが、議会事務局執務室のほうを広くするというのは、理にかなっているので、検討したいと思えます。

監査委員会室が要求水準より小さくなっておりますが、現状の使用状況を整理す

るとこの程度でよいのでは、ということ
この面積となりました。サーバー室につ
いて小さくなっておりますが、担当者の精査
により、この面積でよいということになり
ました。

コミュニティホール等の早朝、土日使用
の場合の執務エリアとの遮断をどうする
かという意見でしたが、出入り口につい
ては、正面玄関を想定しております。セキュ
リティの確保については、必要な場所にテ
ープのような仕切りを設けることと、監視
カメラを設置することで、確保したいと考
えております。

○委員 書庫は文書庫ということによ
ろしいでしょうか。

○事務局次長 職員の使う文書庫とい
うことです。

○委員 部署の配置として、総務課が真
中でよいのでしょうか。

○事務局次長 特別職の来庁者受付の動
線を考慮した結果この位置となりました。

○委員 入札はどこで行うのでしょうか。

○事務局次長 コミュニティホールと中
ホールを想定しています。

○委員 選挙管理委員会はどこでし
ょうか。

○事務局次長 一階の中会議室を想定し
ています。

○委員 入札については、たくさん件数
がある場合は待合場所が必要ではないで
しょうか。

○事務局次長 待合場所を考えると中
会議室で行うのがよいかもしれませんので、
検討したいと思います。

○委員 クレーン車、現場事務所、工事
車両といったことを考えると場所が全然足
りないかと思いますが、どのように検討さ
れているのでしょうか。

○BNK 工事に向けての計画が、追いつ
いていないのが現状ですが、議論をして
いる段階です。

○委員 庁舎の横に残っている住宅につ
いて、雪が吹き溜まると思うが対策はど
うするのでしょうか。

○BNK 雪庇になる可能性があることは
認識しておりますが、具体的な対応につ
いてはまだ検討中です。

○委員 道道の部分の検討については、
どうでしょうか。

○建設課長 道道から町道への移管とい
うのは難しいと考えております。道への要
請等については、政党要望等の中では
することができますが、計画がより具
体的になれば動くことができないと考
えております。

○委員 移管が難しいのであれば、道
のほうへ何かよい方法がないか知恵を
借りることや、町長や副町長から要
請するというものを検討したほうがよ
いかと思います。

○会長 副町長いかがでしょうか。

○副町長 承知しました。

○会長 よろしいでしょうか。

【了承】

03. 断面計画について

アトリエブункより説明

○委員 屋根の真ん中に雪がたまるということはないのでしょうか。

○BNK 屋根の斜めになっている部分にはたまる想定です。真ん中の部分については、風で流れていく想定なので、すごくたまるということはないかと思います。

○委員 屋根に雪をためると屋根が傷みやすくなるのかと思いますが、大丈夫なのでしょうか。

○BNK 敷地面積が狭いため、雪を落とす場所がないというところがあります。平らな屋根というのは一般的な事例として多くありまして、ものとしてはよくなってきており、問題ないかと思います。

○会長 よろしいのでしょうか。

【了承】

04. 熱源比較表

アトリエブункより説明

○委員 庁舎内の電気関係というのはどうなっているのでしょうか。

○BNK この表には照明器具の電気料金は含まれていません。太陽光発電については、検討中です。

○事務局次長 太陽光については、角度的にあまりよくなく、効率が悪くなるため、少し難しいのかなと思います。

○委員 現庁舎のランニングコストはいくらなのでしょう。

○事務局次長 全体で900万程度ですが、この資料には、照明器具等の費用が含まれていないため、比較にはなりません。

○委員 新庁舎のランニングコスト全体が分かったら、資料として出してほしい。

○事務局次長 ご意見をいただければと思うのですが、コスト的にはD案だが、CO₂の排出量や、B案、C案は補助金率が4分の3と高いといったこともあり、エコの観点からすると、町の施策としてはB案、C案もよいと思うところがあり、決めかねている部分があります。

○事務局次長 イニシャルコストについては、補助金にあたる可能性があるのですが、それはこの表のコストに反映しておりません。BとC案については、ガスを使っており、補助があたれば大きな額があたりますので、ライフサイクルコストも変わってくることになります。

○委員 芽室町はどういうスタイルなのでしょう。

○BNK ほぼ油というスタイルです。

○委員 ZEBready の考え方についてはどうでしょうか。

○BNK ZEBready については、エネルギーを作るかというところがポイントには

なるのですが、自然光を取り入れる、断熱性能を高めるといった省エネの部分を取り入れることで、ある程度は守れるのではと考えております。コージェネレーションシステム（以下、「CGS」）については、24時間使う温浴施設などには有効ですが、庁舎のように24時間使わない施設に導入するのがよいかは議論があるかと思えます。

○委員 最近の庁舎では、自分のエネルギーは自分でまかなうという考え方なのでしょうか。

○BNK 消費エネルギーを下げるというのは必要かと思いますが、ゼロにしようとすると、たくさんの太陽光発電を設置することにもなり、難しい面がありますので、施設の性能を上げて省エネにしていくことを考えております。

○北総研 ZEBready については、いくつか種類があるのですが、最初の段階では、高効率、断熱性、通風といった省エネの内容が評価されます。レベルが上がってくると、発電の内容が評価されてくるということになります。

○委員 災害に対する優位性というのは、A～D案で違いがあるのでしょうか。

○BNK 災害時においては、どの場合でも対応ができるようにする必要があると考えております。CGSがある場合、発電ができるという強みがありますが、ない場合でも、非常用発電機で対応することができます。

○事務局次長 いずれにせよ、電気を通して、ガスや油で暖房を動かすということになります。

○会長 熱関係で、北総研さんからアドバイスがあったらお願いいたします。

○北総研 熱源をどうするかという点では何を指標にするかが、ポイントだと思います。ライフサイクルコストなのか、ランニングコストなのか、環境なのか、といったところです。それに対してどうしていくのかというところで、私たちとしても知恵を絞っていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

議案第2号 次回審議会の開催日程と審議内容等について

○事務局次長 次回は2月20日を予定しております。また近くなりましたらご連絡いたします。

○会長 よろしいでしょうか。

【了承】

～閉会～

以上、第8回津別町庁舎等建設審議会会議の顛末を記録し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名して議事録とする。

平成 年 月 日

会長 _____

委員 _____

委員 _____

議事録調製者 _____